

(別紙様式)

令和元年度学校評価の実施状況等調査

学校名	前原高等学校
-----	--------

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	27	0	0	30

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	2	0	0				2

()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	79	174	0				253

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他(学校評議員会)
学校関係者評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input type="checkbox"/> ④その他()

5 平成30年度の学校評価を踏まえ、平成30年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①トイレの洋式化の希望は女子に多かったので、県教育委員会と話し合い男女の洋式化を令和2年度より適時行う予定である。
②1年生からの進路指導を強化するために、1年時点での希望進路を仮決定させた。
③教職員評価に係る面談、授業観察を通して、アクティブラーニング、分かる授業の実践を推進している。
④いじめや心の問題への対応に、より細かい配慮を行い、肯定的な回答が多かった。

6 令和元年度の学校評価で明らかになった課題

①生徒、保護における「家庭学習の時間」の確保の肯定的回答は5割強である。職員も課題と捉えている。
②生徒の中には、トイレ始め施設面での不満がある。

7 令和元年度の学校評価を活かした令和2年度の改善(6に呼応して)

①様々なデータより家庭学習が少ないことから、生徒への指導とともに、保護者への協力もお願いし、時間増加に努める。
②令和2年の設置状況を見て、必要な場合は、さらに改善できるよう県教育委員会へ要望していく。